

『基金』

基金には積立基金と運用基金(当町は設置なし)があり、積立基金は、財政調整基金、減債基金、その他特定目的基金の3つに分類されます。今回は3つの積立基金について、それぞれの目的や活用実績、今後の見通し等をお伝えします。

財政調整基金

財政調整基金は、年度間の財源不均衡を調整するための基金で、経済事情の著しい変動などにより財源が著しく不足する場合や、災害発生時、緊急に実施が必要な大規模工事、その他やむを得ない理由により生じた経費の財源などに充てられます。

近年は都市再生整備事業(交流センター建設他)や、農地耕作条件改善事業(ワイン用ぶどうほ場整備他)などの大型事業が重なり、それらの事業に基金の一部を充てたことなどから残高は減少し、令和2年度末の残高は4.8億円となりました。

一般的には標準財政規模の10%が適正と言われており、当町の標準財政規模で計算すると適正值は約3.1億円です。

5億円となります。令和2年度末の残高は適正值を上回っていますが、万が一に備えて5億円程度を常に保持できるように今後の財政運営を進めていきます。

なお、決算剰余金の2分の1以上を翌年度中に財政調整基金に積み立てるようになっていきます。令和2年度決算による相当額は2050万円で、この額はすでに積み立てました。

減債基金

減債基金は、地方債の償還(返済)を計画的に行うための基金で、主として繰上償還を行うときの財源に充てられます。繰上償還により利子負担の軽減が図れます。

減債基金の令和2年度末の残高は1億1500万円で、この額を令和4年度に実施する繰上償還の財源と

して取り崩す計画です。なお、今後また時期を見て新たな繰上償還ができるよう、令和3～4年度中に1億円を積み立てる予定です。

その他特定目的基金

その他特定目的基金は、財政調整基金、減債基金を除いた積立基金の総称です。当町には現在9つの特定目的基金があります(詳細は広報いけだ11月号4ページ参照)。

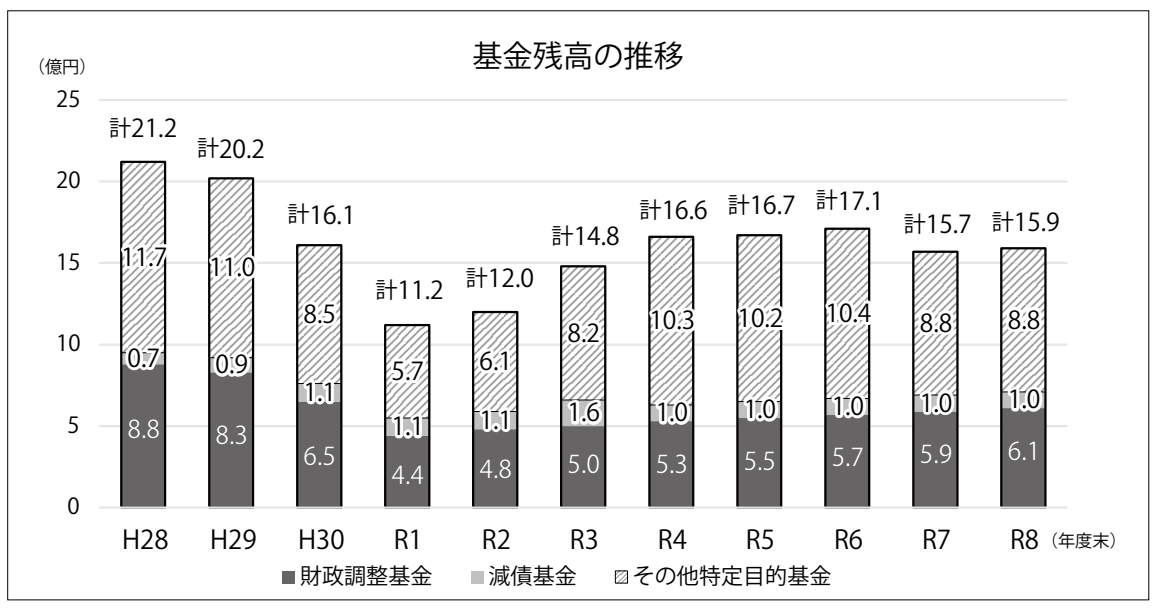
「公共施設等整備基金」は、公共施設等の整備充実に充てるための基金で、交流センター建設時には5億円を充当しました。令和2年度末の残高は3.7億円ですが、今後は積み立てを増やし、適宜公共施設の改修などに充てていきます。

「てるてる坊主のふるさと応援基金」は、ふるさと納税を財源に積み立てる基金で、魅力的な美しいまちづくりなどのために活用しています。令和4年度には、交流センター隣のかえで広場にコンビネーション遊具および四阿よこやを設置する計画があり、その財源とする予定です。

【問い合わせ先】企画政策課 財政係

TEL(62)3129

基金残高の推移



※R3以降は予測値(R3・11月更新)
※国保基金および公営企業の積立金は含まれていません